

災害（復興）・防災と 男女共同参画に関する 講師養成研修

なぜ、災害（復興）・防災に男女共同参画の視点が必要なのかを理解し、さらに地元で男女共同参画の視点を入れた災害（復興）・防災に関する講座の講師ができるようになる 2 日間連続の研修です。この事業は「特定非営利活動法人全国女性会館協議会」が、「公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団」と同テーマで全国の自治体で講演をしている「減災と男女共同参画 研修推進センター」との共催で実施する事業で、今年度は高知県での開催です。是非ご参加ください。

日時

12月13日（金）～14日（土）

定員

40 名

（定員に達し次第受付を終了します。）

会場

こうち男女共同参画センター「ソーレ」 3階 大会議室
（高知市旭町三丁目 115 番地）

講師

浅野幸子さん 池田恵子さん （減災と男女共同参画 研修推進センター）

参加費

受講料 9,000 円（別途 ワークブック代 1,000 円が必要です）
※但し、全国女性会館協議会会員館・個人会員の方は 6,000 円

（お土産付）

すべての課程を修了された方に、指導者用
パワーポイントデータを後日お送りします！

プログラムの詳細は中面を、申込方法は最終面をご確認ください。

主催 特定非営利活動法人 全国女性会館協議会
公益財団法人 こうち男女共同参画社会づくり財団
共催 減災と男女共同参画 研修推進センター

2019年度 災害（復興）・防災と男女共同参画に関する講師養成研修

- 目的** 災害（復興）・防災に男女共同参画の視点が必要であることを理解すると共に、地域の住民、行政、自主防災組織等にどうすればわかりやすく伝えることができるのかを学び、講師として活躍できる人材の育成。
- 日程** 2019年12月13日（金）13:30開始、14日（土）16時終了
- 講師** 浅野幸子さん、池田恵子さん（減災と男女共同参画 研修推進センター）
- 定員** 40人
- 託児** 6ヶ月から小学3年生（小学生は有料）。希望される方は、「こうち男女共同参画センター ソーレ」に直接ご相談ください（Tel.088-873-9100）。
- 参加費** 9,000円（別途ワークブック代1,000円。すでにお持ちで持参される場合は不要です。）
※但し、全国女性会館協議会会員館・個人会員の方は6,000円。

受講特典

すべての課程を修了した受講生の方は、後日、講師デビュー時にすぐ活用できるパワーポイントのデータをメールに添付してお送りいたします。データの送付は、受講後ひと月ほどお時間をいただきますことをご了承ください。

1日目（12月13日・金曜日）

※時間配分が変更する可能性があります。

時間	内容
13:30～13:40（10分）	あいさつ・オリエンテーション
13:40～14:50（70分）	【基礎知識 ～男女で異なる被災経験と対策の方向性～】 大規模災害時、実際にどのような困難に直面しうるのかと、基本的な対策について、具体的に学びます。
14:50～15:40（50分）	【災害時の要配慮者支援 ～ワークショップ～】 大規模災害時の要配慮者支援について、実践的に考える。地域でも実践できる簡単で効果的なワークショップを実践を通して学びます。
15:40～15:50（10分）	休憩
15:50～16:35（45分）	【地域防災の基礎と女性をめぐる状況】 事前学習資料（7章の部分）、「内閣府の『男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針』」を簡単におさらいし、事例集を作って女性支援の実際について考えます。 ●寸劇2本
16:35～17:00（25分）	【研修の種類と対象、意義、効果】 全国各地の最近の特徴的な研修・講座の実践事例も共有します。
17:00～（最長18:30まで）	情報交換（質疑応答を含む） ※自由参加。途中退席できます。

2日目（12月14日・土曜日）

時 間	内 容
9:30 ~ 9:40 (10分)	本日の流れと前日の振り返り
9:40 ~ 10:40 (60分)	【国際動向及び国内政策と現状】 内閣府の避難所運営ガイドライン、トイレの確保・管理に関するガイドラインなど最新の政策状況と、熊本地震対応状況調査（内閣府男女共同参画局）で明らかになった自治体の災害対応の現状、被災地の男女共同参画センターの取り組み、今後の課題等について共有します。 九州北部豪雨災害（2017年）、西日本豪雨災害（2018年）の支援事例にも触れます。
10:40 ~ 10:50 (10分)	休憩
10:50 ~ 11:50 (60分)	【災害時の女性と子どもに対する暴力とその対策】 災害時の女性と子どもに対する暴力の内容や背景についての理解と、具体的な防止及び対応方法について学び考えます。 ●質疑応答
11:50 ~ 12:50 (60分)	昼食休憩
12:50 ~ 14:00 (70分)	【やってみよう！避難生活に関するワークショップ】 ワークブック活用方法を改めて紹介すると同時に、地域での学習実践に効果的なワークショップを体験します。
14:00 ~ 14:10 (10分)	休憩
14:10 ~ 15:30 (80分)	【女性関連施設の役割とこれから ～プログラム&今後の取り組みを考えてみよう！～】 女性関連施設が防災学習に取り組む意味・意義と、実践に当たって重要なポイントや求められる力について考えます。対象により、どのようなスライドを活用したらいいのかについても共有します。 また、全国女性会館協議会が構築する災害時の女性関連施設のクラウドネットワークの紹介と熊本地震等での連携事例を紹介します。
15:30 ~ 16:00 (30分)	質疑応答・アンケート記入

【講師の紹介】

浅野 幸子

早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員
減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表

阪神淡路大震災でNGOのボランティアスタッフとして在宅避難者・仮設住宅・全焼地域の復興まちづくり協議会支援に4年従事。

（財）消費生活研究所、全国地域婦人団体連絡協議会で事務局・研究員として勤めつつ大学院修了。
大学非常勤講師。主な分野は地域防災、非営利組織論。

池田 恵子

静岡大学教育学部・同大防災総合センター 教員
減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表

青年海外協力隊員、JICA技術協力専門家（開発とジェンダー）などとしてバングラデシュやネパールで環境保全や防災の事業に社会・ジェンダー配慮の視点を組み込み活動に従事。2000年より静岡大学教育学部教員。
バングラデシュを対象に、地域防災への女性の参加、開発を通じた災害脆弱性の克服について研究している。

FAX 03-6426-1701



定員になり次第受付を終了いたします。

災害（復興）・防災と男女共同参画に関する講師養成研修に申し込みます

名 前	ふりがな
所 属	
住 所	〒
連絡先 ※必ず両方とも ご記入ください	(電話)
	(パソコンメール)

※提供いただいた個人情報は本事業運営のみに使用し、他の目的には一切使用しません。

●申込方法手順

FAXもしくはEメールで以下の①～⑤を記入してお申し込みください。

申込先は「全国女性会館協議会」になります。

- ① 「防災講師養成研修」参加申込
- ② 名前（ふりがな）
- ③ 所属
- ④ 〒と住所
- ⑤ 連絡先（電話番号・メールアドレス）

●受講料は事前振込制です。

抽選後に協議会から受講の可否をご連絡すると共に、受講料の振込口座をお知らせします。入金確認後に事前学習資料をお送りします。

【防災講師養成講座研修会場】

こうち男女共同参画センター「ソーレ」

〒780-0935

高知市旭町三丁目 115 番地

《最寄り駅》

(JR)旭駅 (電車・バス)旭町三丁目



【申込先】

特定非営利活動法人 全国女性会館協議会

Tel 03-6426-1700

Fax 03-6426-1701

Mail info@j-kaikan.jp

【問い合わせ】

こうち男女共同参画センター「ソーレ」

Tel 088-873-9100

休館日/毎月第2水曜日・祝日・年末年始(12/29~1/3)

開館時間 火~金 9:00~21:00

土・日・月 9:00~17:00